

燕市の事務・事業における二酸化炭素排出の状況について (2024 (R6) 年度)

燕市が行う事務・事業に伴って発生する二酸化炭素（CO₂）の排出量を抑制するため、「燕市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。本計画では、国の事務・事業に関する二酸化炭素排出量の削減計画である政府実行計画に準じて、取組を進めることとしており、2030（R12）年度までに排出量を基準年度（2013年度）比で50%削減することを目標としています。

これに基づき、2024（R6）年度に関する本市の事務事業における二酸化炭素の排出状況と施設別の内訳を公表します。

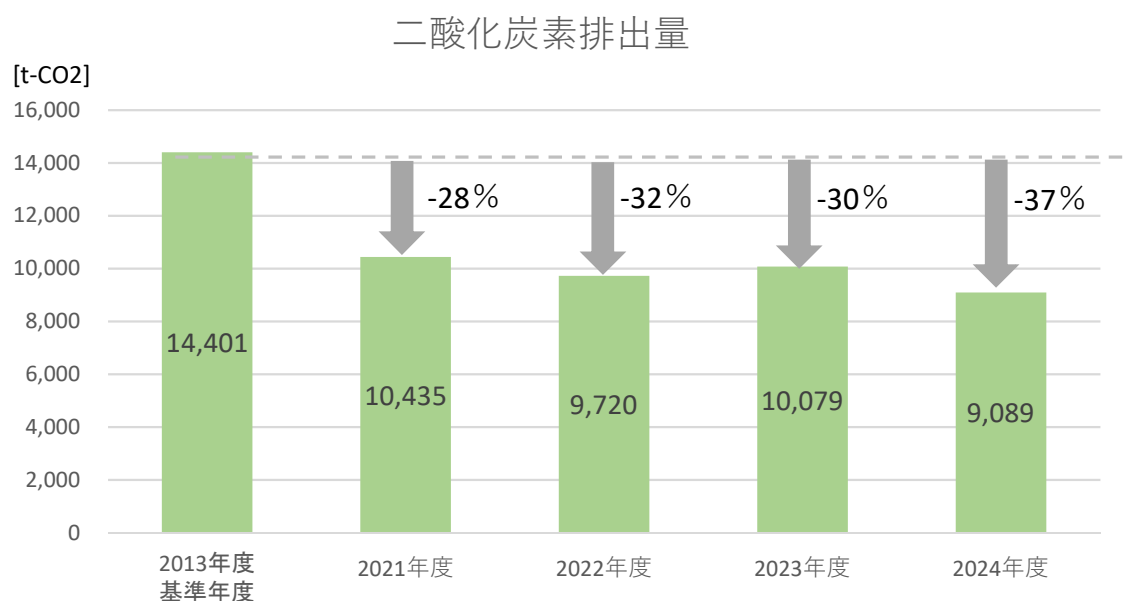
表.二酸化炭素排出量の削減目標

	2013年度 (基準年度)	2024年度 (現状年度)	2030年度 (目標年度)	2050年度 (長期目標年度)
二酸化炭素 排出量	14,401 t -CO ₂	9,089 t -CO ₂	7,200 t -CO ₂	0 t -co ₂
削減目標	-	-	2013年度比 -50%	実質ゼロ

1. 二酸化炭素排出量の推移

燕市が行う事務・事業に伴って発生する二酸化炭素（CO₂）の排出量は、基準年度である2013（H25）年度において14,401 t -CO₂となっています。

2024（R6）年度は、基準年度から約37%減少し、総排出量は9,089 t -CO₂となりました。前年度と比べ総排出量が約10%減少しました。



2. 施設別の二酸化炭素排出量の内訳

燕市が行う事務・事業に伴って発生する二酸化炭素（CO₂）の施設別の排出量では、学校教育系施設が全体の26.9%を占め、次いで供給処理施設が24.2%となっており、これらの施設で全体の二酸化炭素排出量の50%以上を占めています。

学校教育系施設には、小学校や中学校が区分され、供給処理施設には、し尿処理場や下水道終末処理場などが含まれます。

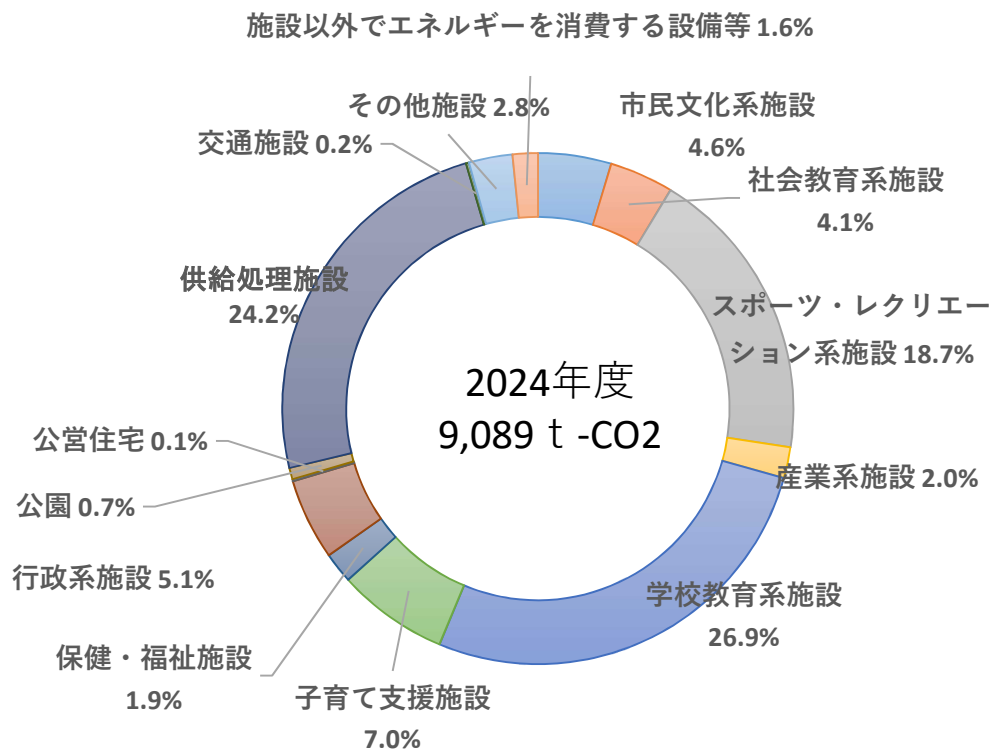


図.施設区分別の二酸化炭素排出量

3. 2024（R6）年度の二酸化炭素排出量削減の取組実施状況

2024（R6）年度に燕市が行った事務・事業に伴って発生する二酸化炭素（CO₂）排出量の削減の取組では、公共施設への太陽光パネルの設置や再生可能エネルギー由来の電気の受電など再生可能エネルギーの活用を進めました。

4. 2025（R7）年度の二酸化炭素排出量削減の取組

2025（R7）年度に燕市が行う事務・事業に伴って発生する二酸化炭素（CO₂）排出量の削減の取組では、施設別の二酸化炭素排出量が高い供給処理施設（下水道終末処理場）において雪国に適した新たな太陽光発電設備の導入実証などを行い、再生可能エネルギーの活用を進めます。

また、施設別の二酸化炭素排出量の最も高い学校教育系施設（小・中学校）において校舎照明のLED照明への交換による省エネ化を進めます。